

2022年4月1日

企業版ふるさと納税(人材派遣型)による地域・社会の持続性確保に向けた取り組み ～将来にわたるすべての人々の well-being への貢献による地域課題の解決をめざす～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣精二、以下「第一生命」)は、地域課題解決に向けた取り組みとして、企業版ふるさと納税(人材派遣型)の制度を活用した人材派遣を実施します。

企業版ふるさと納税(人材派遣型)は、企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材の地方公共団体等への派遣を促進することを通じて、地方創生のより一層の充実・強化を図るため、令和2年10月に創設された制度です。

2022年4月1日(金)より、大阪府阪南市・徳島県へ、それぞれ1名を派遣し、スマートウェルネスシティの推進(大阪府阪南市)および地域の魅力発信(徳島県)等の活動に取り組む予定です。

第一生命は、グループビジョンとして Protect and improve the well-being of all (すべての人々の幸せを守り、高める。)を掲げ、保険領域にとどまらない価値提供を通じて、持続的社会の実現に貢献していくことを目指しています。全国の支社組織・営業オフィスにおいても、自治体との連携協定のもと、地域課題解決に向けた取り組みを行っています。

今後も、持続可能な社会づくりに向けて自治体等との連携協力を推し進め、企業版ふるさと納税(人材派遣型)の制度を活用した専門的知識・ノウハウを有する人材の地方公共団体等への派遣を通じ、地域課題の解決に貢献していきます。

以上